つ く ば 未 来 公 園

～ WALK TOWN TSUKUBA ～

建築環境学科　建築土木施工コース　3班

リーダー	海老原	開斗
サブリーダー	千田	竜也
発表	角来	隆一
書記	塙	龍祈

PROBLEM

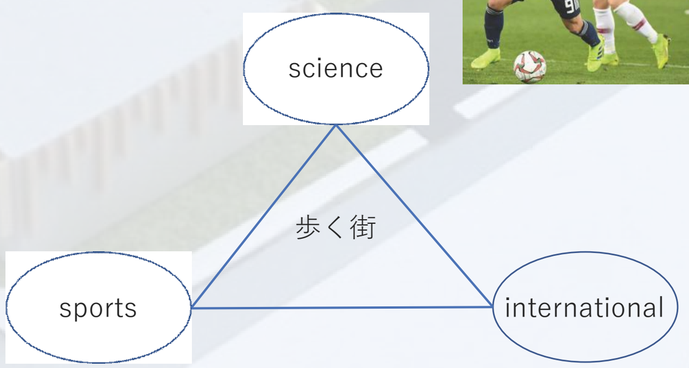
私達の身近なつくば市は、自然と建築が融合している都市だと考えています。
そこから、自然に注目をし、公園を調べていきました。
その中でも運動公園に目を向けました。

問題点		提案
・小中学生や市民が使える陸上競技場がつくば市内にない。	→	陸上競技場を造る。
・つくば市内に大きな体育館がない。	→	既存体育館より大きなものを造る。
・多目的に使え、2000席以上の座席があるホールがない。	→	ホールの座席を2000席確保する。
・駅から歩いて行ける範囲にない。	→	駅の近くの空地を活用する。

市の特徴を取り入れた、
つくばにはない運動公園を造る

CONCEPT

市内には、総合公園は県営の洞峰公園、運動公園は、桜運動公園、茎崎運動公園の二つです。その２つの運動公園を調べてみると、桜運動公園はつくば駅から約２キロ離れており、茎崎運動公園は市外から外れ最寄りの駅からも約５キロ離れて利便性が悪く、市民が求めている施設が少ないことが分かりました。現状が変わらなければ、利便性がよく設備がそろっている市外の運動公園に人が流れてしまい、市内の公園が廃れていってしまいます。
コンセプトとしては、つくばの特徴である　『スポーツ』・『インターナショナル』・『サイエンス』の三つに注目していき、それを活かすことのできる運動公園を造ろうと考えました。スポーツとしては県大会レベルの大会を開催できること、インターナショナルは外国人が多く住む特徴を活かし異文化交流や文化施設を考えています。また、サイエンスは世界に誇れる科学研究機関が多くありその技術の体験や見学です。さらに、つくばが目標とする歩く街も取り入れます。
私たちは、公園にこれらの特徴を位置ずけることで、公園の中につくば市の縮図を創ることができ、ONLYつくばの良さを出せる公園になると考えています。



スポーツ

サイエンス

インターナショナル

つくば駅周辺

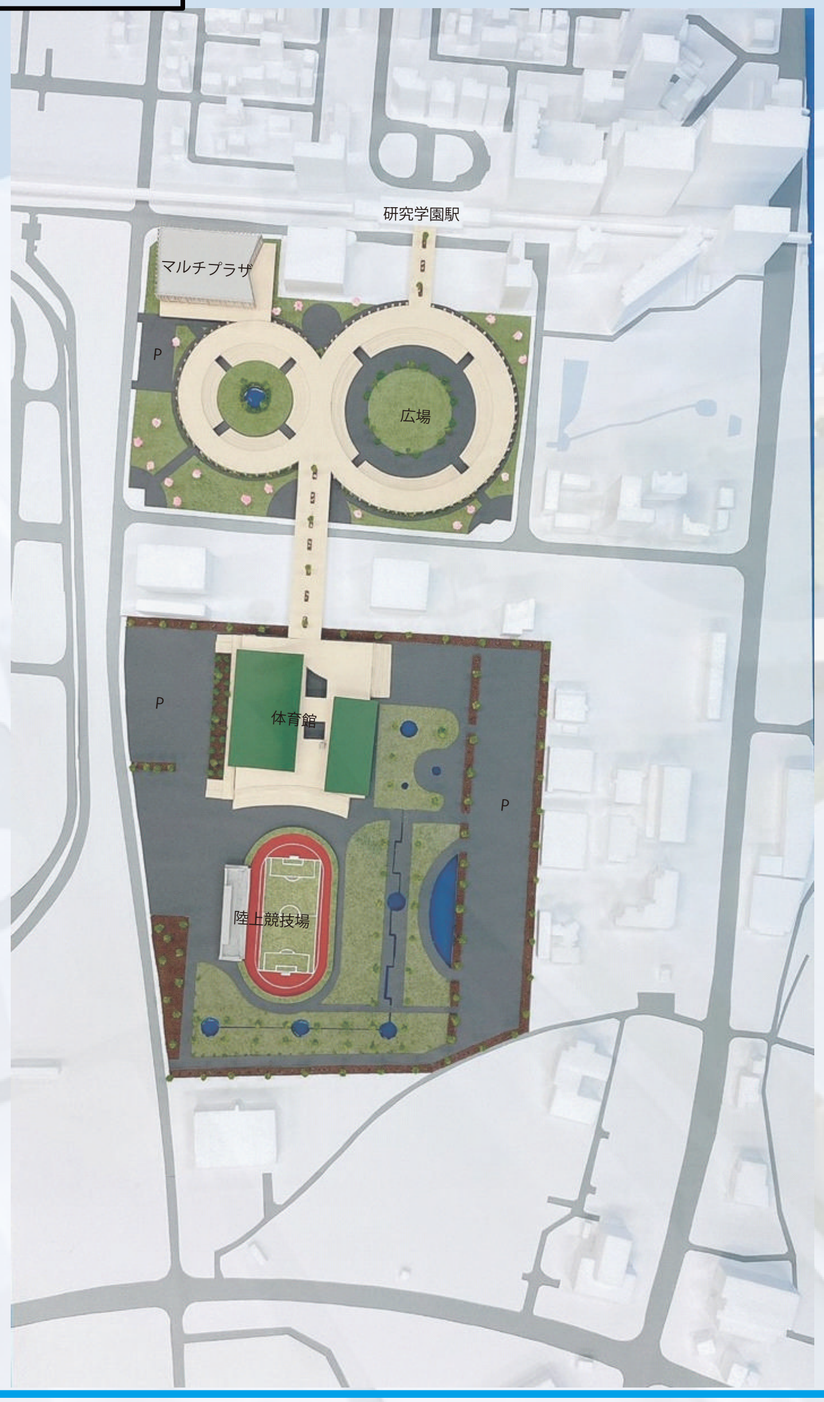
RESON FOR SELECTION

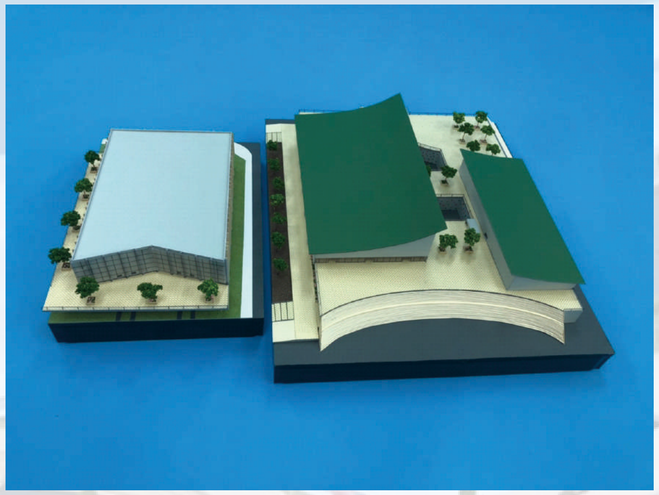
これからのつくば市の中心を担う研究学園駅の北側周辺には複合型ショッピングセンターや様々な飲食店、そしてこれらを囲むように住宅地が広がり新しい街が形成されいますが、近くに運動や休息、交流ができる運動公園がなく、人が集まる機会が少ないと考えています。また、つくば市役所周辺ではイベントが多くあるにも関わらずつくば駅周辺のように賑わっていませんし、さらに、駅南側は人通りも少なくいくつもの空地があることが分かりました。そこで、市民や近隣住居者の運動や休息、交流の場として利用すると共に交通の便が良く県外からも積極的に利用者を呼ぶことも考え、研究学園駅南側の空地を計画地に選定しました。

敷地周辺写真

つくば駅周辺

公園説明





公園内施設

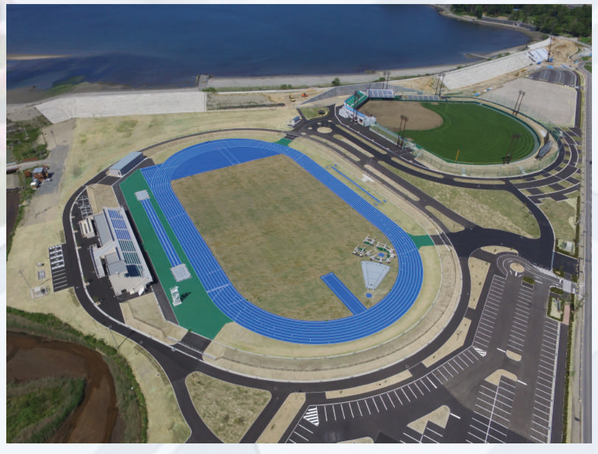
- 広場
- マルチプラザ
- 体育館
- 陸上競技場
- 駐車場（1200台程度）

公園データ

- 運動公園
- 面積　231981.53㎡

総合公園

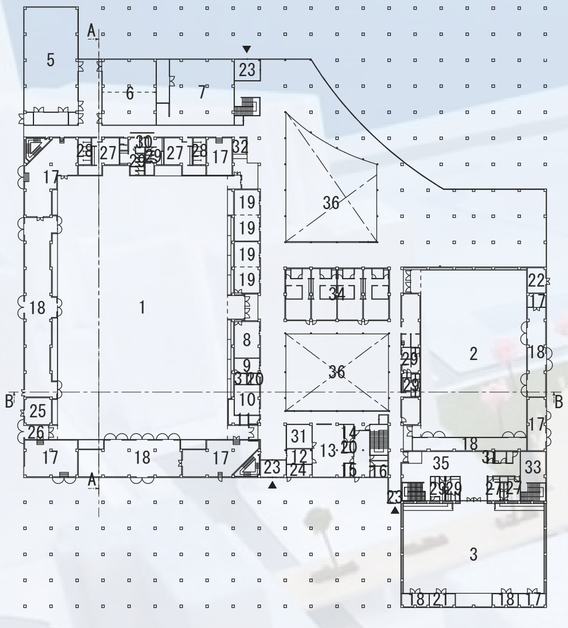
都市市民全般の休息、散歩、運動等総合的な利用を主な目的



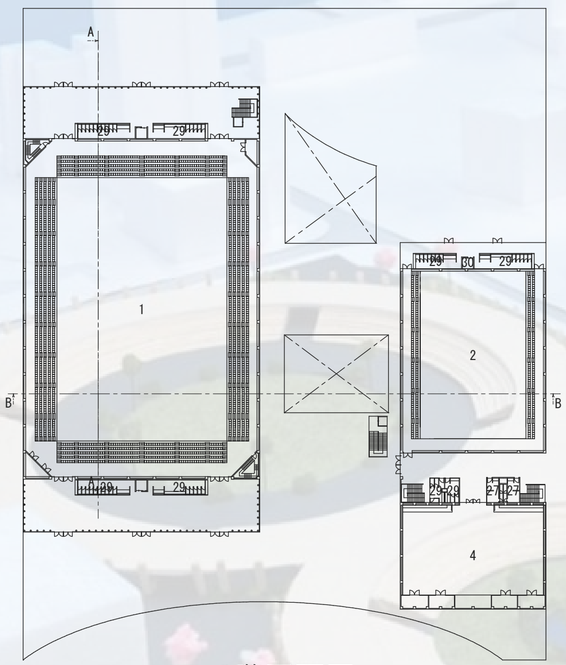
運動公園

都市住民全般の主として運動利用を目的

体育館



1階平面図

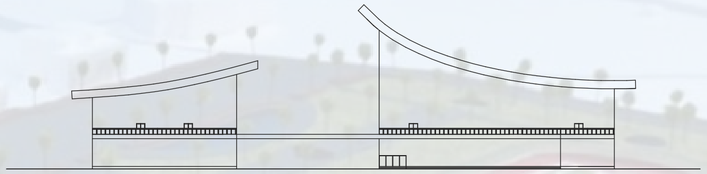


2階平面図

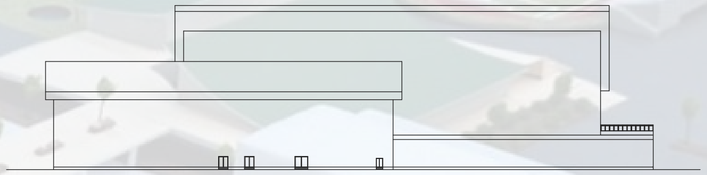
一階床面積	11650.83㎡
二階床面積	8495.86㎡
延べ面積	20146.69㎡

1	メインアリーナ	10	貴賓室	19	会議室	28	シャワー室
2	サブアリーナ	11	放送室	20	湯沸室	29	W.C.
3	柔道場	12	医務室	21	講師室	30	多目的W.C.
4	剣道場	13	事務室	22	消火ポンプ室	31	倉庫(物入)
5	多目的室	14	応接室	23	風除室	32	自動販売機コーナー
6	スタジオ	15	清掃員控室	24	防災センター	33	屋外機置場
7	トレーニング室	16	休憩室	25	防災倉庫	34	選手控室
8	大会本部室	17	機械室	26	荷捌室	35	柔道場ホワイエ
9	主催者室	18	器具庫	27	更衣室	36	中庭

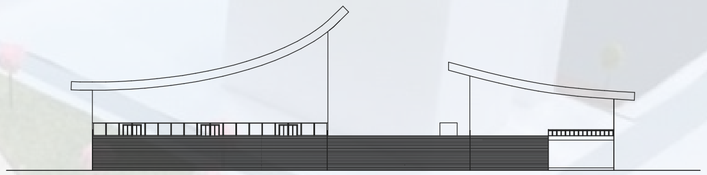
県大会開催をコンセプトに体育館を設け、試合会場と練習場として使用できるようにメインアリーナとサブアリーナに分けて計画しました。デザインは向かい合わせた二つの片流れの屋根を筑波山に見立てています。



北立面図

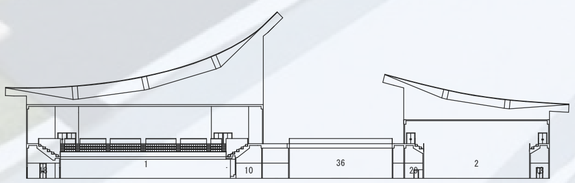


西立面図

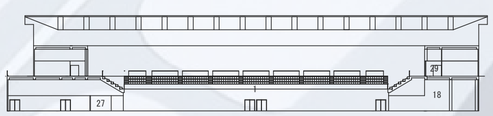


南立面図

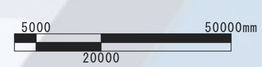
東立面図

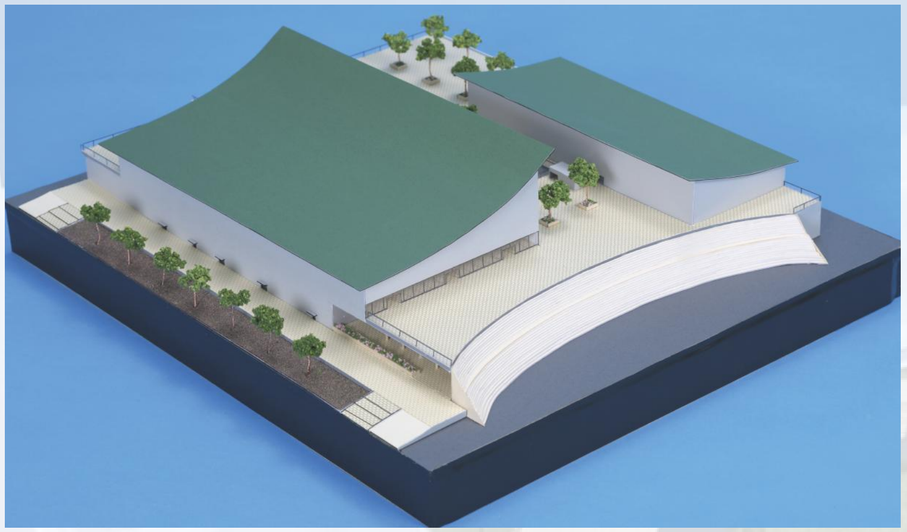


A-A断面図

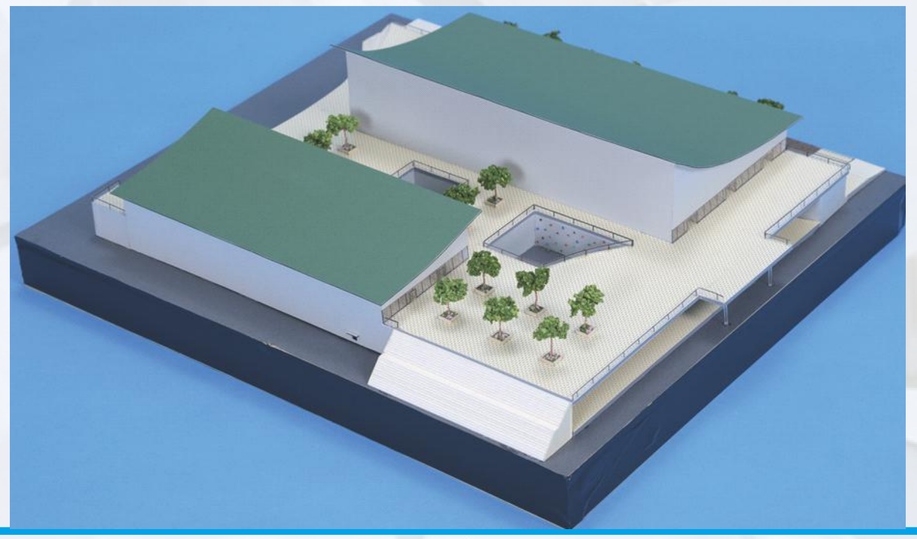


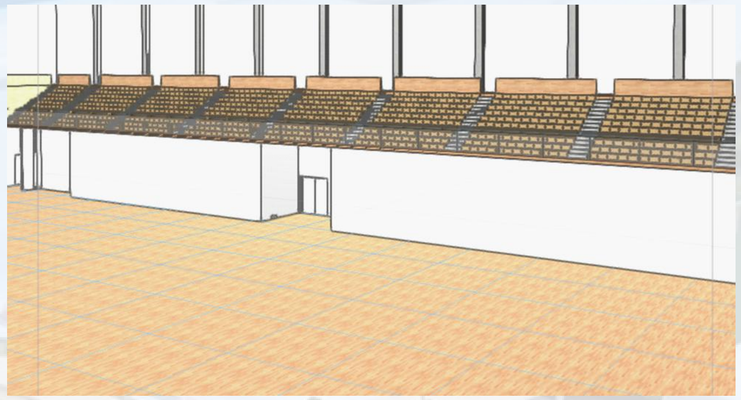
B-B断面図



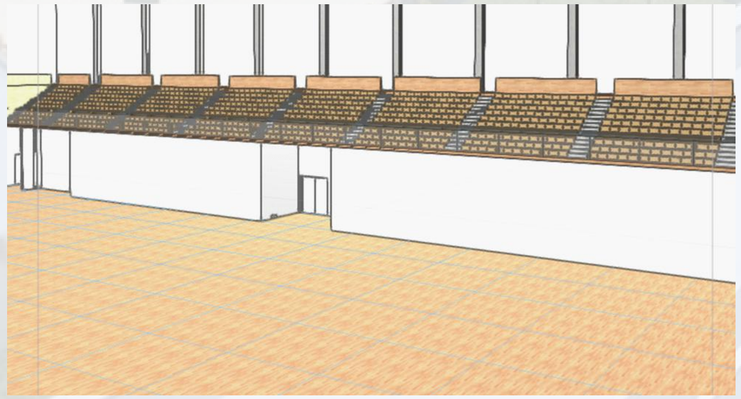


メインアリーナの大きさは約2600平米で約６５ｍ×約４０ｍです。天井高は１５ｍです。この大きさですとバスケットボールコート３面、バレーボールコート３面、バトミントンコート１６面を使うことができます。サブアリーナの大きさは、約1000平米で約40ｍ×約25ｍ、天井高は12.5ｍです。武道場は2階建てで１階は柔道場で大きさは約600平米で約20ｍ×30ｍ、畳常設です。2階は剣道場で大きさは一階と同じです。他の室としてはボルダリング壁、トレーニングルーム、選手控室、更衣室、スタジオ、多目的室を考えています。





メインアリーナ内観

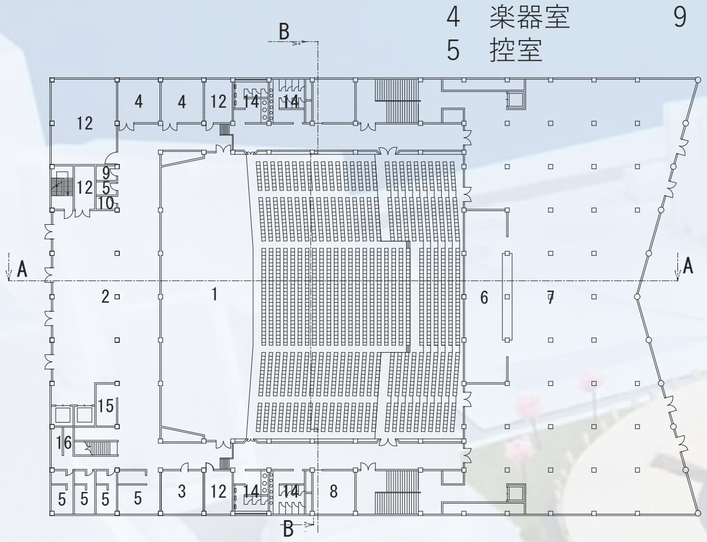


メインアリーナ内観

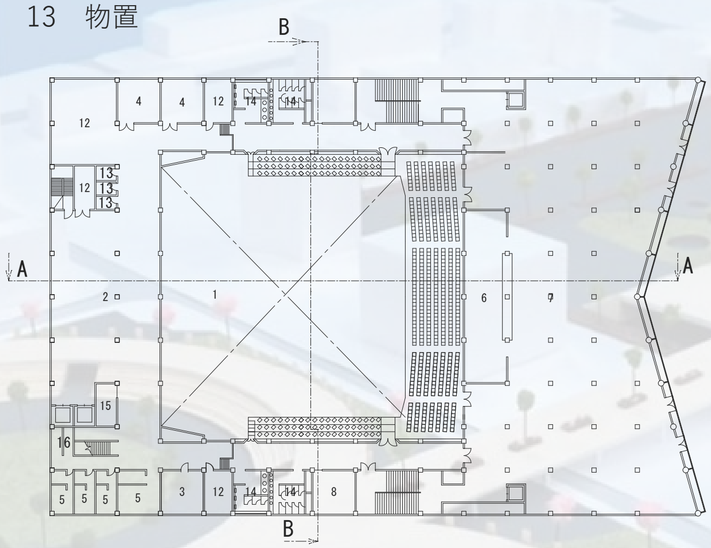
マルチプラザ

1 舞台
2 ロビー
3 ピアノ室
4 楽器室
5 控室
6 クローク
7 エントランス
8 多目的室
9 湯沸室
10 監視室
11 機械室
12 倉庫
13 物置
14 W.C.(男子、女子)
15 多目的W.C.
16 シャワー室

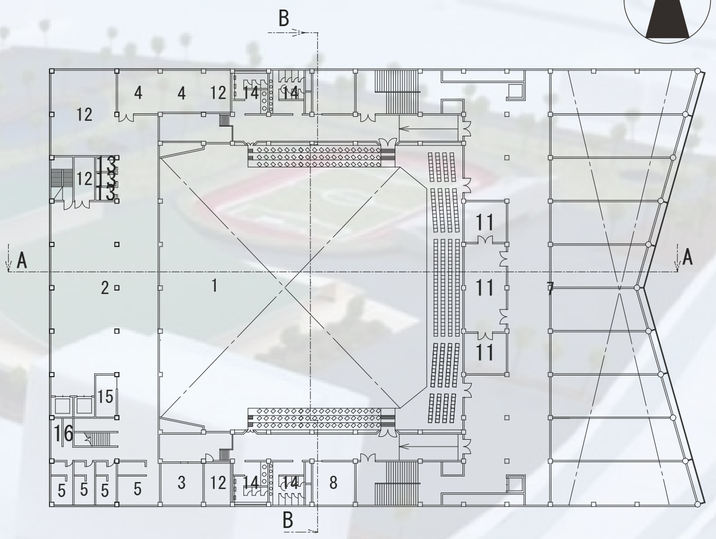
一階床面積 5139.00㎡
二階床面積 3922.90㎡
三階床面積 1910.58㎡
延べ面積 10972.48㎡



1階平面図



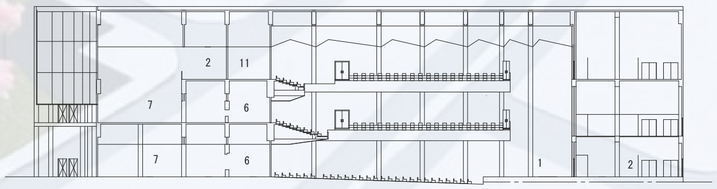
2階平面図



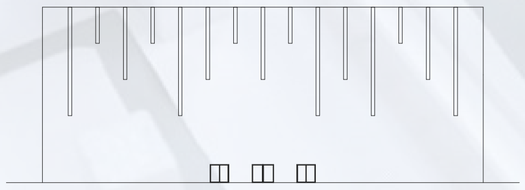
3階平面図

北立面図

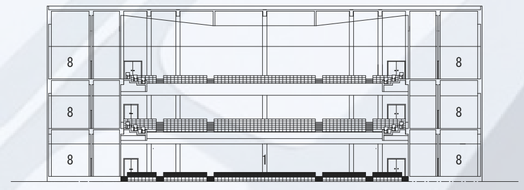
南立面図



A-A断面図


西立面図

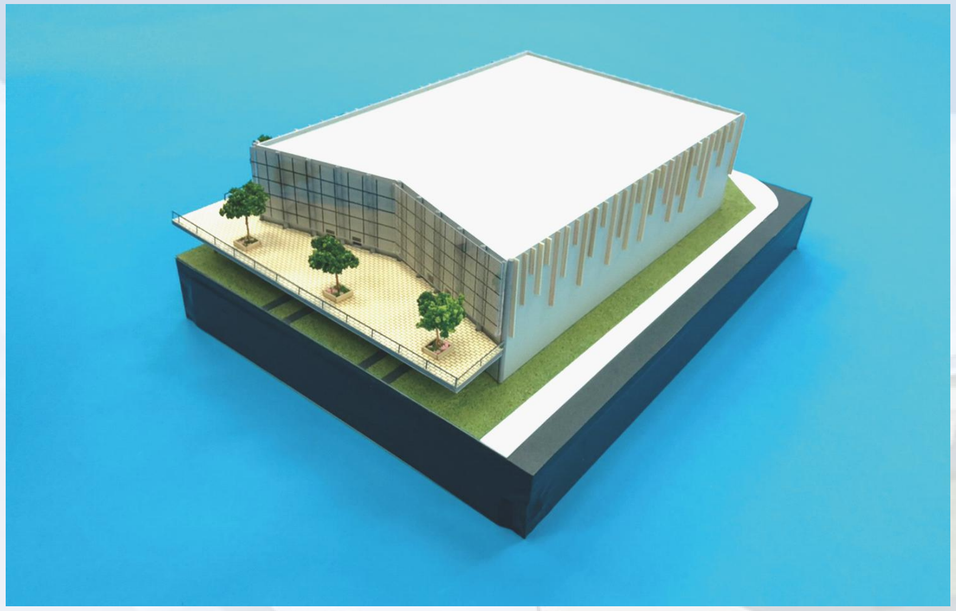
東立面図



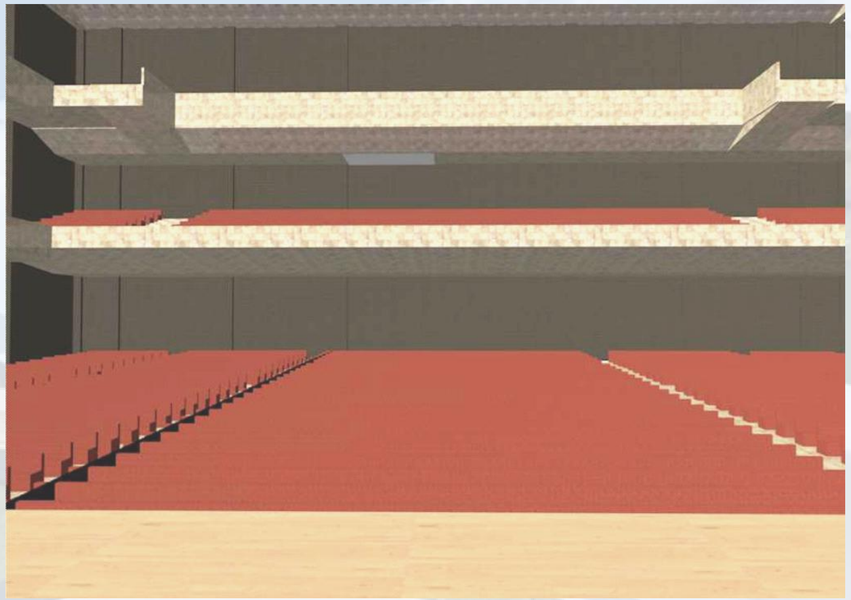
B-B断面図

つくばにはノバホール以外に大規模なマルチホールがなく、ノバホールよりも収容席が多い2000人以上が収容できるコンサートホールをつくばに計画したいと考えたことから始まりました。デザインは、調和をコンセプトにコンクリートと木材の調和、無機質と人工物との調和をイメージしました。

5000 50000mm
20000

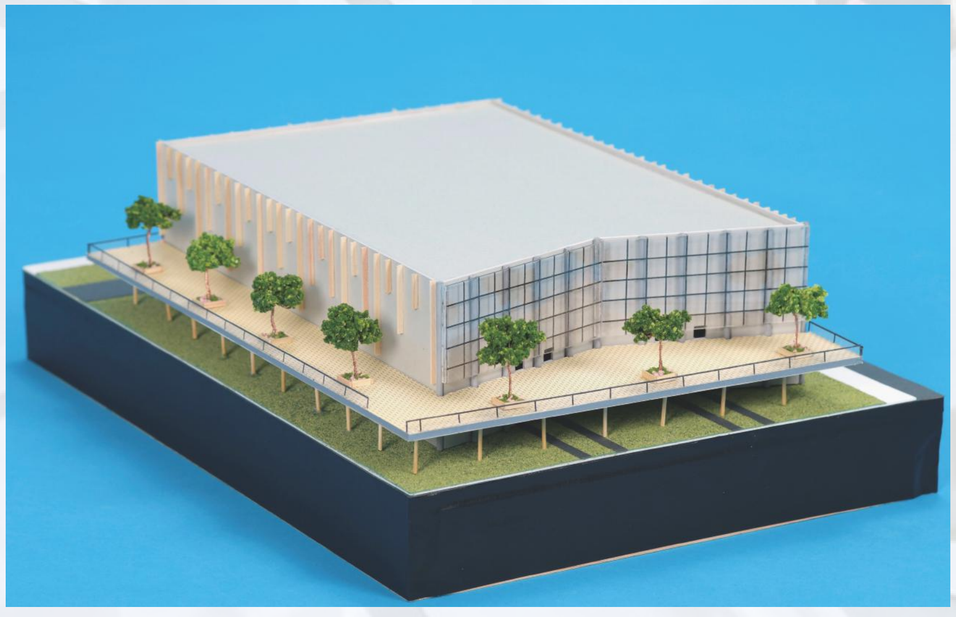


マルチプラザ

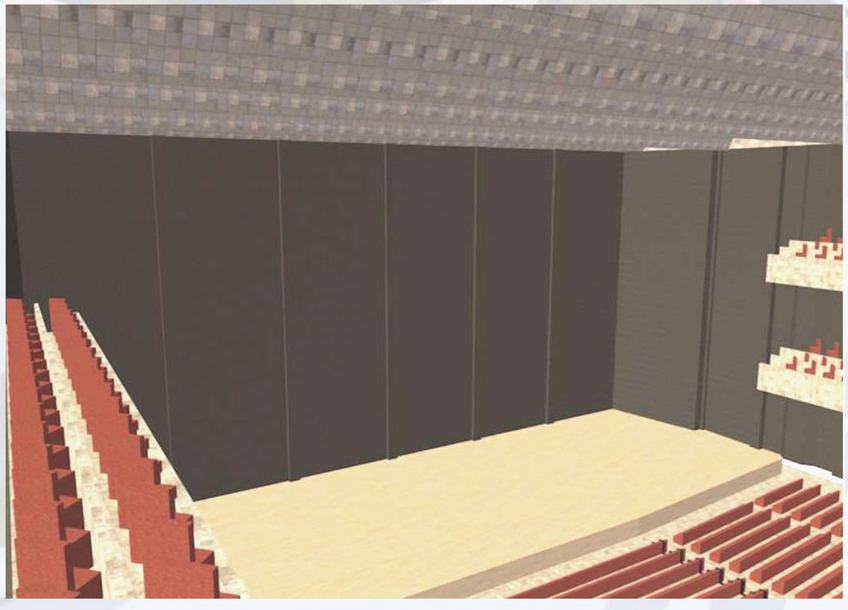


マルチプラザ内観

マルチプラザの大きさは約１１０００平米、約９０ｍ×６０ｍ、総席数は２７７４席、天井高は１８ｍです。デザインは、調和をコンセプトにコンクリートと木材の調和、無機質と人工物との調和をイメージし、外壁を覆っている木材は外国の人々と交流している姿を連想させ、多種多様な文化を木材の長さで表現しました。

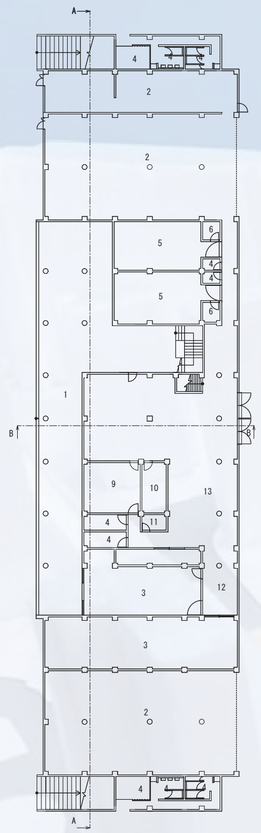


マルチプラザ

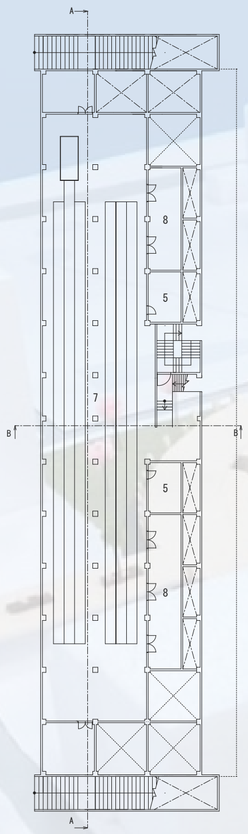


三階席からの内観

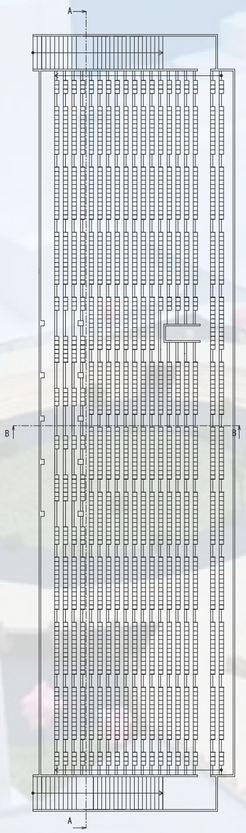
陸上競技場アリーナ



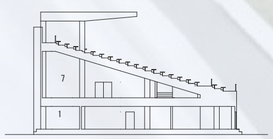
1階平面図



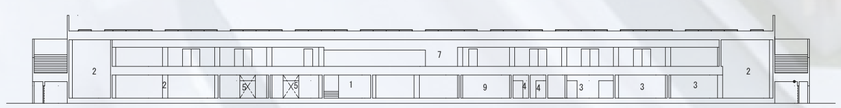
2階平面図



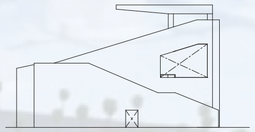
3階平面図



B-B断面図

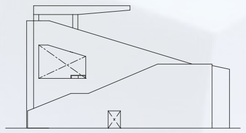


A-A断面図



北立面図

西立面図

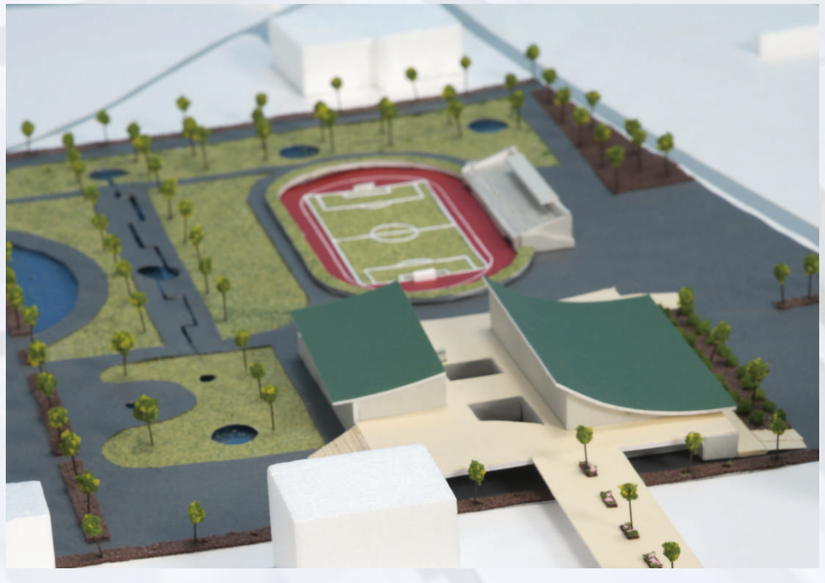


南立面図

東立面図

1　ピロティ
2　器具庫
3　会議室
4　W.C.
5　更衣室
6　シャワー室
7　トレーニング室
8　倉庫
9　事務室
10　医務室
11　給湯室
12　記者室
13　役員室

5000　50000mm
20000



規定にある第二種競技場とするためには観客席が5000席必要なため2000人程度のアリーナ席の他にトラックの芝生席に計画必要数を確保し、陸上競技場の真ん中には公式戦で使用可能なサッカーコートをつくりました。アリーナ席上部には屋根を付けることで、雨の日でも対応できるように考えました。